



予算を知る

令和8年度 名古屋市の予算

一般会計当初予算額は1兆6,961億円で、10年連続で過去最大を更新しました。

私たちの税金ってどんなふうに使われているんだろう？

名古屋の魅力 知りたがり市民 まめきちまめこ

注目の新規・拡充の取り組み

若い世代が将来に明るい展望を持ち、結婚・子育ての希望をかなえられるよう、社会全体で応援します

- 不妊治療費助成事業 1億3,400万円
- 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度) 1億2,735万円

一人ひとりに応じたやさしい福祉を実現し、ともに支え合い活躍できるまちづくりを進めます

- 西特別支援学校新校舎の整備 令和9～10年度 ... 68億400万円(予定)
- 新たな人権擁護体制の整備 4,586万円

独自の魅力で世界から多様な人が集い交流する、環境と経済の好循環で成長する都市をつくります

- リニア中央新幹線開業に向けたまちづくりの推進 ... 35億8,723万円
- スマート ロードウェイ トランジット SRT(Smart Roadway Transit)の運行 7億6,276万円
- 大河ドラマを契機とした観光の推進 5億9,557万円

誰一人取り残すことなく、子ども・若者の希望や夢を社会全体で応援します

- 中学校2年生での35人学級の実施 5億4,664万円
- 民間フリースクール等利用料補助 1億524万円
- 不登校児童生徒の居場所づくり事業 6,292万円

災害や感染症から市民の命と産業を守り、安心・安全な暮らしを確保します

- 港防災センター移転改築の設計等 72万円
- 令和9年度 2億6,800万円(予定)
- 民間住宅等の耐震対策 4億5,500万円

第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会を推進します

- 総事業費 846億円
- 競技大会の開催・運営 754億円
- 競技会場・アクセスルートの整備 66億円 など

主な取り組みやその他の施策について詳しくはこちら

内訳はどうなっているの？

収入の内訳

市税収入は個人市民税や固定資産税といった主要税目の増収により227億円増加し、過去最高額を更新しました。

令和8年度	市税	国・県支出金	市債	その他
1兆6,961億円	6,901億円	4,016億円	2,170億円	3,874億円
伸び率	3.4%	5.2%	0.2%	10.3%
令和7年度	市税	国・県支出金	市債	その他
1兆6,172億円	6,674億円	3,819億円	2,166億円	3,513億円

支出の性質別内訳

市税収入が伸びる一方、賃金や物価の高騰により、障害者自立支援給付費などの扶助費で216億円、職員の人件費で159億円増加しています。

人件費	扶助費	公債費	投資的経費	その他
3,026億円	4,775億円	1,394億円	2,213億円	5,553億円
5.5%	4.7%	1.5%	△11.5%	14.0%
2,867億円	4,559億円	1,374億円	2,501億円	4,871億円

その他が682億円増加しており、そのうちアジア・アジアパラ競技大会関連経費などにより、補助費等が619億円増加しています。

物価高騰について、何か対策しているの？

物価高騰はつらい...けど、商品券や子ども支援で私たちの暮らしを応援しているんだね!

プレミアム付電子商品券の発行* 63億9,600万円

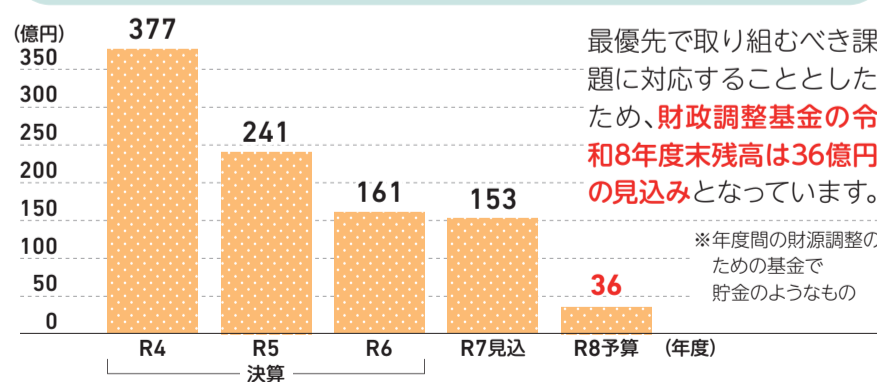
児童扶養手当受給世帯に向けた物価高騰対策給付* 1億5,100万円

保育所・学校などの給食費に係る物価高騰対応支援 24億8,572万円

*令和7年度2月補正予算で計上し、令和8年度に繰り越して実施など

予算の概要をまとめた「令和8年度予算のあらまし」は、区役所情報コーナー・支所区民生活課・市民情報センター(市役所西庁舎1階)で配布しています。

財政調整基金※の残高は？



最優先で取り組むべき課題に対応することとしたため、財政調整基金の令和8年度末残高は36億円の見込みとなっています。

※年度間の財源調整のための基金で貯金のようなもの

予算について詳しくはこちら